

新たに2つの企業の郡上工場が完成

郡上市は「これからも ずっと郡上 もっと郡上」の旗印を掲げ、脱「消滅可能性都市」をめざして市民と議会・行政が一丸となって様々な事業に取り組んでいます。人口減少問題・少子高齢化への対応策を軸として「産業振興、企業支援などの雇用の場の確保」「郡上への人の流れをつくる交流移住推進」「子育て支援の充実」「安全安心のまちづくり」「個性ある教育、文化のまちづくり」の5つを重点的に取り組みを行っています。また、郡上市総合計画後期基本計画の柱である、「地域資源を生かした産業を育てるまち」を創る産業・雇用の施策を進めています。

今回、新たに市内に工場を立地された株式会社TEKNIA^{テクニア}と長良川木材事業協同組合を紹介します。

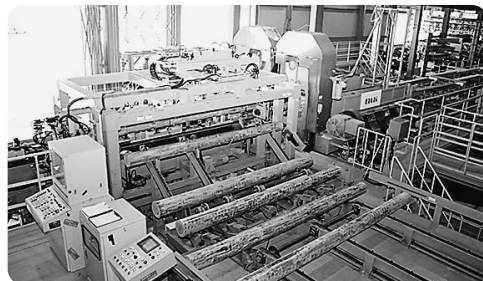
株式会社TEKNIA

9月19日（土）株式会社TEKNIA（本社：名古屋市中川区）が郡上市白鳥町の勝光島工業団地に建設していた郡上工場の竣工式が行われました。同社は航空機部品や自動車部品を製造し、愛知県内のほか海外でも事業展開しています。新工場では航空機部品などを生産します。敷地面積は約1万1330平方メートル、新工場の建築面積は約990平方メートル。当初は10人体制で生産が行われ、地元からは6人が採用されました。郡上市は、国から「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定されています。同社も特区のメンバーであり、今回の進出に結びつきました。



長良川木材事業協同組合

9月28日（月）長良川木材事業協同組合の大型製材工場が完成し、竣工式が行われました。工場は、中部・関西地区最大規模の国産材製材工場です。敷地面積約10万平方メートルの中に原木置場、製材棟、チップ棟、乾燥機、木質バイオマスボイラーなどが配置されています。総事業費は50億円で、郡上市からは林業振興の補助金を支援しました。市の面積の約9割を占める森林の利活用を図るうえで、製材関連工場の企業立地は大変重要なことです。国内最大手の製材業を営む中国木材㈱（本社：広島県呉市）と郡上森林組合・岐阜県森林組合連合会などが共同で長良川木材事業協同組合を設立し、柱、梁などの住宅用構造材の製材工場を建設されました。製品は、中京圏を中心に全国への販売が計画されています。現在は、31人体制で生産が行われ、地元からは17人が採用されました。また、今春市内の高校を卒業した6人も採用されました。来年度も、市内の高校生の採用が予定されています。今後は、年間5万立方メートルの原木加工をめざしています。



企業を誘致する取り組みは、郡上市だけでなく全国の市町村が行っています。郡上市の強みとして、東海北陸自動車道や今後、全線開通する東海環状自動車道などの交通アクセスの利便性や強固な地盤・自然豊かな環境など地域の特性をアピールしながら多様な産業の誘致を推進します。また、企業の人材確保を進めるため、高校・大学等の就職担当者と市内企業の人事担当者との情報交換会や企業説明会の開催、企業紹介誌、紹介動画の制作を行うほか、新たにUターン・Iターン者を採用し雇用を拡大する企業を支援します。

問 商工観光部商工課 ☎ 67-1808